

「ENEOS MOTOR OIL」テレビCMが銀賞を受賞 第16回「タイムズアジア・パシフィック・アドバタイジング・アワード」

記者各位

当社(社長:西尾 進路)が昨年6月から、中国、タイ、インドネシアにて展開しておりますエンジンオイル「ENEOS MOTOR OIL」のテレビCM「OILLABORATORY, PISTONMAN」篇が、第16回「タイムズアジア・パシフィック・アドバタイジング・アワード」において、銀賞を受賞いたしましたので お知らせいたします。

同コンクールは1990年から台湾のチャイナ・タイムズ・グループによって開催されており、アジアの三大広告コンクールのひとつと位置づけられています。今回は、トータル11カ国、1,154作品の応募があり、その中で、「OILLABORATORY, PISTONMAN」篇は、自動車業類部門でトップの銀賞(自動車部門での金賞入賞はなし)を獲得いたしました。

当社では2002年より、アジア各国において順次ENEOSブランドのエンジンオイルを発売し、2003年からテレビCMを展開しております。当社は今後とも、国内のみならず海外においてもエネルギーを通してお客様に選ばれる企業を目指すとともに、好感をもって認知していただけるよう積極的な広告宣伝活動を展開してまいります。

記

1. 表彰基準

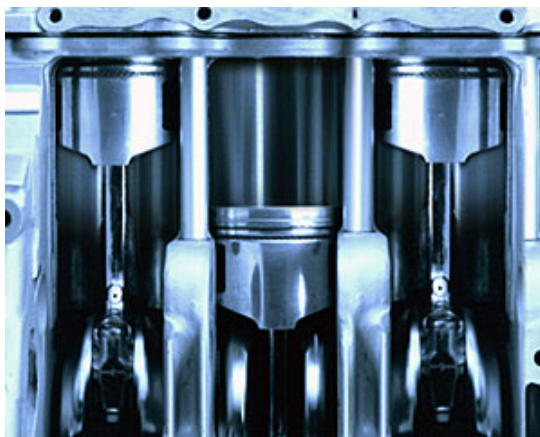
アジア・パシフィック地域で展開している広告の中で4つのカテゴリー(テレビ、新聞、屋外看板、ウェブ)から業類ごとに金賞、銀賞、銅賞を選定。テレビカテゴリーには23の業類があり、自動車業類部門では金賞:なし、銀賞:当社、銅賞:1社が受賞した。カテゴリー、業類ごとに受賞数は異なる。

2. テレビCMの内容

「エンジンオイルを開発中の研究所で、エンジンのピストンの動きを熱心に見つめるエンジニアたち。高速で精密に動くピストンにつられて体までがピストン運動してしまう」日本製オイルの技術の高さと親しみを表現したCM。

以上

【テレビCM カット写真】



上下に高速で動くエンジンのピストン



オイル開発に向ける熱意のあまりピストンに合わせて動き出してしまう研究員たち



「ENEOS MOTOR OIL」の商品ラインナップ